

ながさき 教区報

ナガサキ・キョウクホウ

2023年 秋号

contents

- 第24回全国仏教壮年大会
- 長崎教区仏教青年連盟みのりこう
- 第8回長崎教区布教大会
- 九州地区特別法務員等勤式研修会
- 第19回『平和のつどい』—全戦没者追悼法要—
- 第47回長崎教区保育連盟仏教保育講座
- 予算書
- 宗務連絡事項



吉崎御坊跡 蓮如上人銅像 (福井県あわら市吉崎)

2023(令和5)年度行事予定

教堂・教区行事

- 本願寺長崎教堂報恩講
2023(令和5)年11月27日(月)~28日(火)

仏教婦人連盟

- 仏婦入門講座
2023(令和5)年11月2日(木)
- 本願寺長崎教堂音御堂
2023(令和5)年10月19日(木)
- 仏教若婦人開法の集い
2023(令和5)年11月21日(火)
- 寺族婦人・代表者研修会
2024(令和6)年2月13日(火)~14日(水)

保育連盟

- 新任保育士研修
2023(令和5)年11月8日(水)

教区ビハーラ

- ビハーラ長崎研修会
2023(令和5)年12月4日(月)

仏教少年連盟

- 仏の子どもの集い
2023(令和5)年12月23日(土)

中央行事

- 新しい領解文(浄土真宗のみ教え)学習会
2023(令和5)年10月4日(水)

九州行事

- 5ブロック少年連盟指導者研修会【福岡教区】
2023(令和5)年10月17日(火)~18日(水)
- 第5連区門徒総代一泊研修会【大分教区】
2023(令和5)年10月24日(火)~25日(水)
- 九州地区門信徒の集い第21回仏教婦人(女性)大会【北豊教区】
2023(令和5)年11月11日(土)
- 第47回九州地区真宗青年の集い【熊本教区】
2023(令和5)年11月18日(土)~19日(日)
- 第5連区門青年布教使研修会【宮崎教区】
2024(令和6)年2月28日(水)~29日(木)

長崎教区勤式練習所 2023(令和5)年度『勤式練習会』

- 日 時** 2023(令和5)年 10月5日(木)
2023(令和5)年 12月5日(火)
2024(令和6)年 2月6日(火)
- 時 間** 14:00 ~ 16:00
- 会 場** 本願寺長崎教堂
〒854-0045 諫早市新道町50-3 TEL.0957-22-3011
- 講 師** 教区勤式指導員、教区指導員補佐等
- 参加費** 1回1,000円

教区勤式指導員および特別法務員による声明、御文章、作法の指導、また荘厳等に関する疑問解決など…どなたでもご参加いただけます！
練習会へのお問い合わせ等は長崎教区教務所まで。

仏青会員随時募集中！

聞法会、声明練習会、その他例会などを企画、開催しております。
仏教青年連盟の活動にご興味がある方、参加されたい方はお気軽に長崎教区仏教青年連盟事務局まで。

お問合せ連絡先

長崎教区教務所内仏教青年連盟事務局
〒850-0045 長崎県諫早市新道町50-3
TEL: 0957-22-3011
FAX: 0957-24-0761
Mail: hong.nagasaki@gmail.com

編集・発行
「御同朋の社会をめざす運動(実践運動)」
長崎教区委員会
記事についてのご意見、ご要望、送付部数のご希望は長崎教区教務所まで。

教区 H.P.
QRコード

Follow Me!

HONGWANJI.NAGASAKI
Instagram
はじめてます!!

生前の御苦勞を偲び、謹んでお悔やみ申しあげます。
佐世保組 常念寺 前任職
郡 康仁 様(九十一歳)
二〇三(令和五年)五月十四日往生
長崎西組 円成寺 前任職
大串 嗜乗 様(八十一歳)
二〇三(令和五年)四月十九日往生

敬 弔

五島組 得雄寺
前任職 七里 一行 様
新任職 七里 見生 様
二〇三(令和五年)五月八日就任
(八月一日現在)
継職おめでとうございます。

住職継職

2023 (令和5) 年度 長崎教区 予算書

長崎教区一般会計予算歳入

款	項	費目	2023(令和5)年度予算	2022(令和4)年度予算	対比△減	説明
1		教区賦課金	22,000,000	22,000,000	0	
1	1	普通賦課金	22,000,000	22,000,000	0	
2		過年度賦課金	0	0	0	
2		宗派交付金	13,917,000	13,537,000	380,000	
1	1	宗派・本山助成金	200,000	200,000	0	教化助成費、教区事務費
2	2	実践運動助成金	1,510,000	1,510,000	0	組重点プロジェクト推進助成金、実践運動推進助成金、組実践運動推進費、 教区重点プロジェクト推進事務助成金
3		各種助成金	2,697,000	2,317,000	380,000	仏婦連盟助成金、仏壮連盟助成金、仏青連盟助成金、少年連盟助成金、 保育連盟育成費、ビハーラ助成金、矯正教化連盟助成金、布教団助成金、 勤式指導員活動助成費、総代研修助成金、組事務費
4		給与引当金等助成金	9,500,000	9,500,000	0	教務所長給与費(教室へ回金)
5		宗会議員選挙助成金	10,000	10,000	0	事務・会議費
3		懇志	200,000	200,000	0	
1	1	懇志	200,000	200,000	0	ご仏前(平和のつどい等)ほか(教区取納分)
4		願記手数料	500,000	500,000	0	
1	1	願記手数料	500,000	500,000	0	申請書・願記冥加金
5		各種参加費	2,720,000	4,020,000	△1,300,000	
1	1	各種参加費	2,720,000	4,020,000	△1,300,000	勤式指導所会費、得度講習会、研修会参加費(総代門徒幹部研修会等)、その他参加費
6		雑収入	643,000	643,000	0	
1	1	雑収入	643,000	643,000	0	利息等、伝達御礼等
7		回付金	10,000	1,000,000	△990,000	
1	1	平衡資金回付金	10,000	1,000,000	△990,000	(特)長崎教区平衡資金会計(歳出)1款1項教区一般会計回付金より
8		前年度繰越金	4,000,000	4,000,000	0	
1	1	前年度繰越金	4,000,000	4,000,000	0	2022年度よりの繰越金
		歳入合計	43,990,000	45,900,000	△1,910,000	

長崎教区一般会計予算歳出

款	項	費目	2023(令和5)年度予算	2022(令和4)年度予算	対比△減	説明
1		実践運動推進費	7,667,000	9,267,000	△1,600,000	
1	1	実践運動推進費	210,000	1,600,000	△1,390,000	実践運動関係費
2	2	教学振興費	280,000	280,000	0	教学研究費、布教対策費
3	3	門徒推進費	6,257,000	6,467,000	△210,000	総代会推進費、組活動推進費、教化団体育成費
4	4	人権・平和問題推進費	400,000	400,000	0	差別・平和問題研修費(平和のつどい)、長崎解宗連費
5	5	広報費	250,000	250,000	0	教区報年2回発刊
6	6	勤式・得度講習会費	270,000	270,000	0	勤式練習会御礼、会議費等、得度講習会(1回開催)
2		社会福祉事業費	15,000	15,000	0	
1	1	社会福祉事業費	15,000	15,000	0	矯正事業講演会費、社会福祉推進協議会費
3		会議費	890,000	1,450,000	△560,000	
1	1	会議費	890,000	1,450,000	△560,000	教区会費、常備会費、組長会費、諸会合費
4		宗会議員選挙事務費	10,000	20,000	△10,000	
1	1	宗会議員選挙事務費	10,000	20,000	△10,000	
5		教務所事務費	4,700,000	4,300,000	400,000	
1	1	事務費	3,050,000	2,650,000	400,000	通信費、事務機器費、印刷・消耗品費、備品費、出張費、デジタル関係費
2	2	諸費	1,650,000	1,650,000	0	奨励費、渉外費、諸費、雑費
6		回付金	27,000,000	26,000,000	1,000,000	
1	1	回付金	27,000,000	28,000,000	△1,000,000	各会計へ回金(教室一般会計、退職積立金・平衡資金等)
7		予備費	3,708,000	2,848,000	860,000	
1	1	予備費	3,708,000	2,848,000	860,000	
		歳出合計	43,990,000	45,900,000	△1,910,000	

歳入合計	43,990,000
歳出合計	43,990,000
差引剰余	0



親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要記念 「第二十四回全国仏教壮年大会」に参加して

長崎教区仏教壮年会連盟理事長 園田 祥隆

今大会は、スローガンに「ご縁を慶び、お念仏とともに」、テーマに「聖人のみ教えつないでお念仏申す朋友の輪」を掲げ、四月十五日(土)「本願寺御影堂」、十六日(日)「ホテルグランヴィア京都」にて開催された。全国大会はコロナ禍の影響もあり六年ぶり。全国から十五日の「法要参拝」に七五〇人、同日の「懇親会」に五三一人、そして十六日の「大会」参加者は六三三人を数えた。

さて、「長崎教区仏教壮年会連盟」では、法要前日の十四日(金) 出発、帰りは十六日(日)、二泊三日の参拝ツアー参加者を募ったところ、男性二十四名、女性三名、合計二十七名(教務所所長、事務担当含む)もの応募があったことは、嬉しい限りである。

初日、「長崎空港」から空路「伊丹空港」へ。「嵐山」にて昼食。親鸞聖人の入滅地「角坊」に参拝し、「京都国立博物館」にて「親鸞展」を鑑賞。見ごたえのある展示であったため、一時間ほどの時間制限では慌ただしい。そして宿に入り、徒歩にて夕食会場へ。アルコールも入り、大いに盛り上がる。

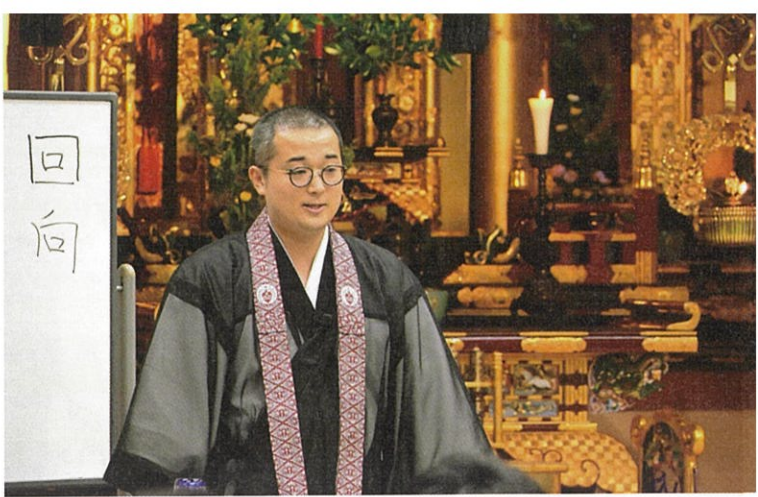
二日目、大会スタッフの私は準備のため単独で本山へ向かう。昼食後みんなど合流。パンフレット、記念品等を渡し、役目は終了。会場の「本願寺御影堂」に入る。法要終了後、ただちに準備のため懇親会会場の「ホテルグランヴィア京都」へ向かう。懇親会はアルコールも入り、大盛況。しかし、私は終了後、明日の準備があるためアルコールは控えめに…。「教

区仏旗」の組み立てが待っていた。

三日目、スタッフは六時五〇分会場集合のため。またしても単独で「ホテルグランヴィア京都」へ。大会のリハーサルだ。「教区仏旗」を掲げての入場だ。旗の角度は四十五度くらい。これが重い何の何の日頃、箸より重たいものは持ったことがない私には耐えられない。リハーサルは無事終了。本番もそんなくこなす。数日後、背筋が妙に痛くなったのはこのせいかな。最後に参加者一同で「仏教壮年としての自覚を新たにし、お念仏を喜び、次世代へ繋ぎ、朋友の輪を一層広げる活動を推進し、自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現をめざす決意をここに表明します」との決意表明を行い終了。私は後片付けを済まし、みんなの待つ昼食会場へ。ビール一杯がうまい。それから得度習礼・教師研修修道場で知られる「西山別院」に参拝し、「伊丹空港」より空路帰途につく。「長崎空港」には十九時前に到着。ここでツアーは解散。三々五々家路へ。

後日、副理事長の平野さんから、「ツアーに参加した方はみんな良かったと言っている」。「今度に行けなかった人も誘い行きたい」との声もあると聞き、この大会は終わりではなく、始まりであると確信した。これを機縁として朋友の輪が広がり、念仏の輪が広がることを願うしだいである。

今回の全国大会は二〇二六(令和八)年に岐阜教区で開催予定。南無阿弥陀仏…。



長崎教区仏教青年連盟のりこうについて

期 日 二〇二三（令和五）年六月三十日（金）
 会 場 本願寺長崎教堂
 テー マ 「ほとけさまのお話を聞く」
 講 師 大財 義教先生（長崎教区佐世保組教宗寺）
 限 部 蓮音先生（長崎教区島原北組正覺寺）
 参加人数 二十四名（青年層の門信徒、僧侶・寺族、関心のある方）

長崎教区仏教青年連盟では年に数回、活動を通して仏さまの教えをともに学び、青年層がお寺に興味を持ってもらえるように、またご縁を深める場になればという願いを趣旨として、みのりこ（聞法会）を開催しております。このたび教区仏教青年連盟役員が参加者へインタビューをいたしました。

取材者 長崎教区仏教青年連盟役員

受け手 雲仙市からお越しの初参加の女性

本日は雨の中、よくお越しくださいました。この「みのりこ」の開催はどちらでお知りになられましたか？お寺の掲示板とか住職さんのオススメとかですか？

いいえ、インスタグラムで知りました。

そうなのですね、どうやって「本願寺長崎教堂・長崎教区教務所」のアカウントに繋がったのですか？

インスタグラムをしていたら、オススメのアカウントとし

てあったので、興味があつて登録しました。それで、投稿から本日の「みのりこ」があることを知りました。

お寺には普段から立ち寄ったりしますか？

普段からお世話になっていてお寺の法要に参加したりしています。

お一人でお寺に足を運ぶとなると、抵抗感などはありませんでしたか？

小さい頃からおばあちゃんと一緒に

らつていて、それがご縁になって高校生や成人になつてもお寺へのお参りは続いています。なので、お寺に対して抵抗感はありませんよ。

とてもありがたいご縁ですね。私なんて、お寺の子として生を受け、お寺と家が繋がっている中で成長させていただきましたよ。今では、ありがたいご縁によつてこうしてお坊さんにならせていただいています。ところで、私を

含めてお坊さんってどのような見られていますか？やっぱり、気難しい感じがしますか？
 最初は、お坊さんって笑わないうって勝手に思っていました。真面目で難しい人が多いのかなって。でも、お世話になっていて、お寺の住職さんとお話しして、お坊さんも笑つたりするので、お坊さんにも笑つたりするのだな、と思いました。それからは、お坊さんに対しての見え方が変わりました。

あなたがたい存在であり、私にとっては日常ですね。
 普段の生活の中でお念仏が無くてはならない存在なのですね。本日にありがたいと思えます。本日はお忙しい中、突然のインタビューにお答えいただきまして、ありがとうございます。また、ご縁があればお越しください。



第八回長崎教区布教大会を終えて

長崎教区布教団副団長 緒方 正親

二〇二三（令和五）年五月二〇日、島原市寺町、善法寺様（北條純雄ご住職）を会場として、第八回長崎教区布教大会が開催されました。この度は、島原南組仏教婦人大会と共同での開催となりました。

善法寺様の前ご住職、北條成之師は長崎教区選出の前宗会議員であり、また宗会議長を務められた方であります。

長崎教学研究会での勉強会に、長年ご出講下さった山口県長門市俵山の深川倫雄勸学和上（二〇二二年十一月七日ご往生）は、かつて「長崎の坊さんたちは、約仏の話がすんなり聞ける。北条成之先生のご教化があるでしょう。」と仰っていた。朝から晩まで、人間の話を語り続ける我々は、仏さまのお話しを聞いても、私の手元へ引き寄せないよ、阿弥陀さまの話だよと、私の話が腐っていく、衆生（約生）から仏に約していくことを教化くださった方々が偲ばれるお寺様です。

出講する四人の布教使の第一席は、この五月に布教使任用になった諫早組善定寺、木山広勝師。

御讃題は正像未和讃より「如来の作願をたづねれば、苦悩の有情をすてずして、回向を首としましたまひて、大悲心をば成就せり」（註釈版六〇六頁）

慈悲心を完成された阿弥陀さまはお立ち姿の仏さま。座ったままならば、落ちる者を落とさないに間に合わず、観無量寿経に説かれる立攝即行の立ち姿を示されました。母親の手元から離れ、駅の改札をくぐ

て構内に侵入した子ども、たつくん。それを見留めた靴屋で買い物の母親は裸足のまま、たつくんを追いかけ改札をぐり抜ける。ホームから落ちはしないか、電車にはねられるはしないか、誰かに連れ去られるはしないか。子を案じる母親は、ゆっくり歩いて追いかけるはしない。必死に追いかけて、つかまえて抱き上げる。安堵の母親と対照的に、たつくんはぼかんと母親を見つめる。責めることも、お礼を求めることもなく、ただただ間に合つてよかったと喜ぶ母親でありました。

続いて第二席は、長崎組光源寺の児玉保子師です。御讃題は、ご本典総序より、「ああ、弘誓の強縁、多生にも値ひがたく、真実の淨信、億劫にも獲がたし。たまたま行信を獲ば、遠く宿縁を慶べ。」（註釈版三三二頁）

十月ご本山の研修で、ネパールのカトマンズ本願寺住職ソナム師のお話がありました。ソナムさんは、北インド出身のチベット仏教出身で、菩薩を目指し、出家。人との接触が禁止されるなど厳しい修行の日々を送り行を完成されましたが、平安は見出せないまま煩惱が戻ってくるような思いを抱えておられた。

そのような中、一九九八年のこと、インドのブツダガヤで北九州市出身の向坊弘道氏と出会った。

二十歳の交通事故で首から下が動かず車椅子の生活となった向坊さんは、名実ともに真宗門徒であった。はじめて念仏者に出

会つたソナムさんは、自身の修行生活のことや、それでも煩惱が消えない思いを向坊さんに話しました。私は障害のために修行は困難であり、この道では間に合わない。私にはお浄土（生まれるという道が開かれている。ソナムさんには、向坊さんが喜びの中で生きていることがひしひしと伝わり、その喜びがどこから来てるのかを知りたくて日本を訪れ、阿弥陀仏の教えに出会うこととなりました。

真宗僧侶となつたソナム師は向坊さんと共に、ネパールに真宗寺院を建立することを思い立ち二〇〇四年から建設が始まりました。しかし、残念ながら建設開始から二年後の二〇〇六年、向坊さんは六十七歳でご往生されました。その後も、建設は続けられ二〇一四年完成、二〇一六年には即如上人ご親修にて落成慶讃法要が勤められました。

異なる境遇を抱えるお二人の出会いが、ネパールの人々にお念仏が伝わる勝縁となりました。休憩をはさんで第二席、佐世保組西浄寺、古我正法師。御讃題、弥陀経讃より「十方微塵世界の念仏の衆生をみそなはし、撰取してすてざれば、阿弥陀となつてまつる」（註釈版五七一頁）

阿弥陀さまの「阿」は「じゃ、な〜い」という意味です。否定を表します。次の「弥陀」は量るということを表します。つまり、阿弥陀とは「量ることのできない」ということです。

祖父から「まーちゃん、まーちゃん」と可愛がられました。時代劇の「水戸黄門」や相撲を、祖父と一緒にテレビで観てました。やがて思春期を迎え、県外の高校へ進学

し寮生活となりましたが、大学受験期に祖父が入院しました。初めの頃は、よくお見舞いに帰省していましたが、受験のこともあり次第に見舞いの回数も減ってきました。受験も佳境の十一月、祖父が亡くなったという知らせが届きました。急いで戻つて、祖父の顔に触れてびっくりするほど冷たく、まるで氷のようでした。祖父を見舞うことが、次第に少なくなつていったことを後悔しました。

人はどれほどの時間、生きることができるとか、わかりませんでした。死がどれほどの体の温もりを奪っていくのか、わかりませんでした。死んだらその後どうなるのか、わかりませんでした。わからないことだらけの私を、わからせて救う仏さままではありませんでした。人知を留め、仏智を回施する無量寿、無量光の阿弥陀さまであります。

本日、第四席は諫早組明教寺、片山量海師です。御讃題は正信念仏偈「無量寿如来に帰命し、不可思議光に南無したまつる。法蔵菩薩の因位るとき、世自在王仏の所にましまして、諸仏浄土の因、国土人天の善悪を覩見して、無上殊勝の願を建立し、希有の大弘誓を超発せり。五劫これを思惟して撰受す。重ねて誓ふらくは、名声十方に聞こえんと。」（註釈版一〇二頁）

私たちの仏さまは阿弥陀さまという名の仏さまです。名は名であつて、同時に特徴をあらわします。私の量海という名は、「量りしれない海の如くに」という親の願いが込められています。阿弥陀さまのお名前はアミターバ・アミターユスという特徴をお持ちです。「バ」は「光」は、光明を意味し、光明に照らされる空間を示す。「ユス」「ユ」は、寿命を意味し、

あなたとつてお念仏とはどうですか？
 ありがたい存在であり、私にとっては日常ですね。
 普段の生活の中でお念仏が無くてはならない存在なのですね。本日にありがたいと思えます。本日はお忙しい中、突然のインタビューにお答えいただきまして、ありがとうございます。また、ご縁があればお越しください。

寿命に影響する時間をあらわす。アミタは無量を意味し、阿弥陀仏の名は、無量寿、無量光を備え、いつの時でも、どんな場所でも救い続ける仏さまです。
 といっても、わかりません。わからないから「無量」「不可思議」とお示しです。むしろ、私にはわからない仏になられたのです。
 梯実圓和上は、「弥陀が衆生を仏にするというのは、私が人を人間にするのと同じ。私にわかるほどの仏なら、私を仏にすることはできない。であるから、私にはわからない仏になられた。」とご教授下さいました。
 なんでも、わかりたがる、語りたがる、やりたがるこの私に、わからないことへの転換を示してくださる仏さまでした。
 四人の方々が、それぞれの味わいを伝えてくださり、善法寺本堂の僧俗大衆、一味のお領解をともにいたしました。
 かつて深川倫雄和上は、聞きかた、いただきかたに用事はない。「たのめ・たすくる」のお救いに用事があるとのご常教でした。今まさにに仏力を談ず。私のことを語つても、どこまで行つても詮はありません。
 浄土真宗のお領解は、ありがたいことなにご安心です。今際の際に聞いた人には執着を離れる意志も、感謝する余裕も、努力する力も残っていません。ただただ仏願の生起本末を聞いて、安堵してこの輪廻より出離します。
 浄土真宗のお領解に古くも新しくもなく、正しいお領解のみが伝わり続けます。この度の布教大会も、そのことがあきらかに讃嘆されました。

二〇二三(令和五)年六月六日(火)

九州地区特別法務員等勤式研修会を開催して

会役者
宣也先生



長崎教区勤式指導員 町田 秀映

コロナ禍により三年間長崎教区で行われていなかった九州地区勤式指導員の研修会を開催いたしました。

今後、各教区・別院・各組・各寺院にて勤修される親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要や報恩講法要において、特別法務員有資格の皆さまは、とくに会奉行・会係を拝命することと存じます。このたび研修会では本願寺式務部長満田宣也先生をお招きし、ご本山での会役者としてのご経験から、会奉行・会係を勤めるにあたって、また各寺院において新制御本典作法を勤修するにあたり、習礼等の指導方法や注意点等をご講義いただき、お互い研鑽を積む研修会となりました。

開会式の際に称える一斉の重誓偈は誠に素晴らしく、同じ音程、同じ拍で揃った声の鼓膜を気持ちよく震わせ、心まで震えた程です。参加者の方々は日頃より研鑽を積んでいて、一斉にお勤めする姿を見て、こんなに素晴らしいものだと思いましたが、日常ではなかなか考えることがないですが、声明の素晴らしさを改めて感じるようになりました。

後半では新しく制定された『御本典作法』の実技が行われ、御講師より会奉行・会係・法中など、詳細なご指導を受けることができました。

大勢の人が集まるといことが難しくなっていたのですが、今回多くの方に参加していただき有難い縁となりました。

この経験をいかし、ますます深く声明に関わってまいります。

二〇二三(令和五年)六月十七日(土)、十八日(日)

「第四十七回長崎教区保育連盟

仏教保育講座」について

長崎教区保育連盟委員長

八洲 秀賢

長崎教区保育連盟は五十一園の加盟園で組織され、基本方針・スローガン・研修テーマに基づき研修会を開催しています。

毎年の開催は、仏教保育講座。隔年開催の主任保育士研修会・新任保育士研修会。

令和五年度の仏教保育講座は、NHKや民放等多数の作品で人形説きとして活躍された安藤秀明先生をお招きしました。お話は長崎組光源寺様伝承の物語「鮎買い幽霊」。

毎日夕暮れになると鮎を買いに来る娘。不思議に思った鮎屋が後をつけると、そこは墓地。翌朝、その墓地へ行くと赤ん坊が元気に泣いていた。いのち終えて赤ん坊一人を残して逝ってしまった母親は、「私はどうすればいいでしょうか」その問いに「お前さんのゆく道はな…」、やさしく語りかけるご院さん。「お念仏になれば、いつでもどこでも一緒じゃぞ」。「わたし、お念仏になりたい」

人形劇を通して、如来さまの大悲に照らされ救われていく母親の姿をお説きくださいました。如来さまは衆生をどうやって救うか五劫思惟なさって、全功德を衆生に回向して、仏名に成就し、声になって救うと誓われた方。声となった仏さま、届けられたのがお念仏である。

さて、本年は親鸞聖人が誕生されて八五〇年・立教開宗八〇〇年にあたることから、ご本山では慶讃法要がお勤めされ、園児のつどいも開催されました。

親鸞聖人はお正信偈で、如来さまの第二誓「名声超十方」を「名声聞十方」とおよろこびになられた。八〇〇年の時を超え(超十方)今ここに私に、園児たちに、聞こえております(聞十方)お念仏の声が。ご教化ありがとうございます。

五月にはコロナ感染症が「五類」に移行され、それぞれの園では、ようやく元気な日々が戻ってきました。どうぞこれからも、まことの保育にご理解とご協力をお願いします。

二〇二三(令和五)年八月八日(火)

第十九回『平和のつどい』

—全戦没者追悼法要—が厳修

本年も本願寺長崎教堂において、八月八日に長崎教区「平和のつどい」が開催されました。

追悼法要が厳修され、上映会、記念講演、コンサート、実践運動の教化団体連絡協議会の皆さんがそうめん流しを、子ども、若者ご縁づくり委員の皆さんがポップコーンを作ってくださいました。

「平和のつどい」の趣旨には、全戦没者の方々への追悼を通して、あらためて「平和を尊ぶ仏教精神を身につけよう」と、表明されています。

御法義の歴史を振り返りますと、様々な戦禍の中でもお念仏が大切に守られてきた事実があります。

それは、人間が戦禍の悲しみをずっと作り続けてきた歴史の上の御法義ということでもあります。

「平和のつどい」の趣旨を読ませていただくと、何故戦争が繰り返されてきたのか、どうしたら繰り返さずに済むのか、八月八日を御縁にみんなで考える法要でありたいとの願いが伝わってきます。

まもなく、戦後八十年の節目をお迎えします。

如来様は十方衆生よ、とはたらき続けていてくださいます。私がおかをこの身に蓄えていく御法義ではありません。しかし、今ここにあったかい如来様のお慈悲のぬくもりあり、と知らされるが故に見えてくる世界があります。如来様のお慈悲の中で平和とは何か、戦争とは何か考えることを大切にさせていただきます。

(文・実践運動広報伝道部会委員)

「参拝者へのインタビュー」

○参拝のきっかけは？

- ・お寺から誘われた。
- ・法要への出勤依頼を受けて。
- ・法要のチラシを見て。
- ・長崎には原爆の日があり平和への関心がある。
- ・住職様から誘われた。
- ・壮年会で知った
- ・前坊守様に誘われて。

○平和と聞いて何を思いますか？

- ・平和の視点がそれぞれの中で、地球の困難な状況とどう向き合うか。
- ・平和は千羽鶴。安心。戦争。父親。母親。戦争が無いこと。
- ・戦争があるから平和を望む、人間自分が正しいと思うと争いが起きる。
- ・水をいっぱい飲むこと。戦争が無い時が平和。
- ・争いのない世界、自分は戦後生まれで親は戦争を経験している。

○「意見」要望

- ・縁が違えば体感も人それぞれ、ぬくもりも人それぞれ、それぞれであることを知ってサンガを楽しみたい。
- ・はじめてコンサートまで聞けて良かった。
- ・法要とコンサートのコラボは良いと思う。
- ・所属寺の住職さんと「人間はおろかな生き物だな。約七十年前に痛い目にあつたのに、また同じことを繰り返している。」と話す。
- ・エアコンが寒かった。